

●追加された機能●

1. モーション再生スピードの高速化

解説

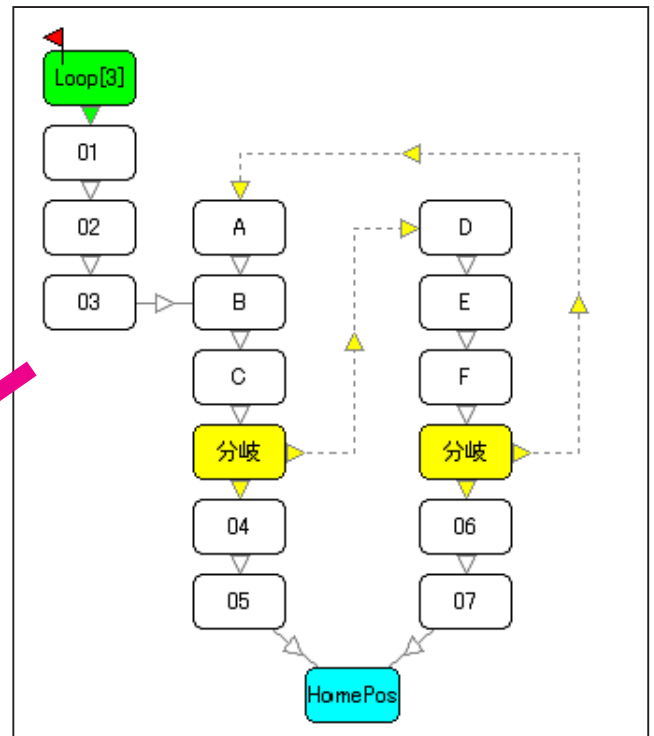
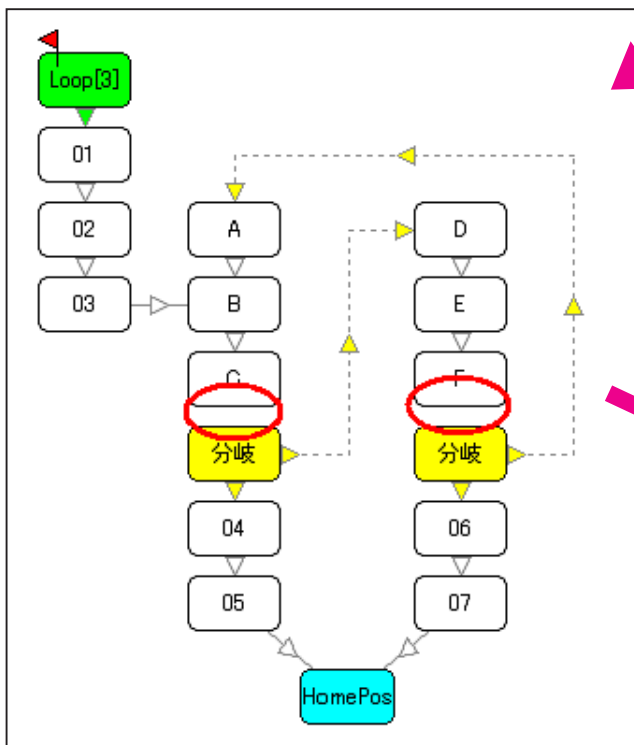
アップデート以前 (Ver1.02 以前) との一番の違いはこの機能です。

Ver1.02 以前の RCB-3 では、モーション・シナリオ再生中に SET オブジェクト、CMP オブジェクトを通過する時に、補間スピード換算で1~2、時間単位換算で 15ms ~ 30ms(出力周期 15ms の場合) を消費していましたが、Ver1.03 では最小 2ms まで高速化し、特に CMP オブジェクトを用いたモーション分岐のタイムラグが微少になりました。(SET, CMP の通過時間は各オブジェクトの設定内容により異なります。)

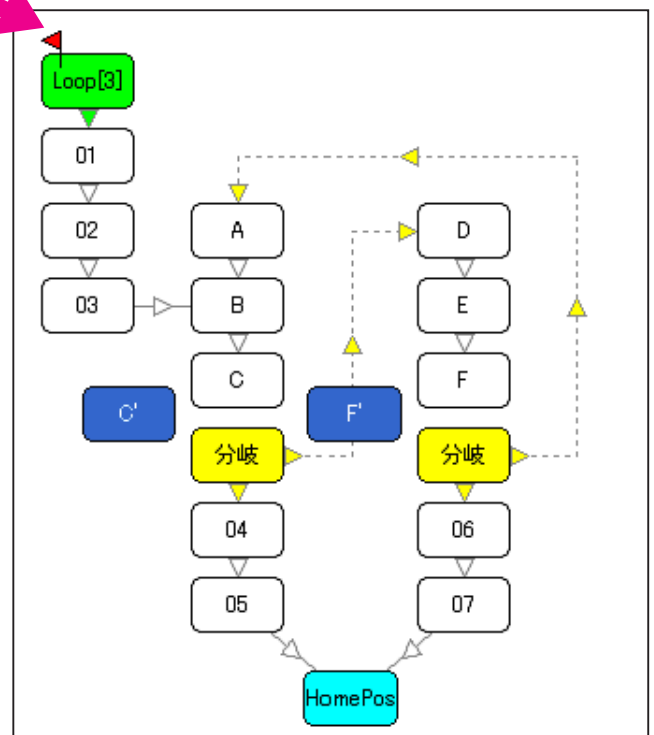
ただ、このことにより Ver1.02 以前で作成された歩行モーションなどが完全に再現できなくなります。対処法を KHR-1HV の歩行モーションを例にとって説明します。

設定手順

- 1 「C」、「F」(POS オブジェクト) と分岐」(CMP オブジェクト) 接続している配線を削除します。

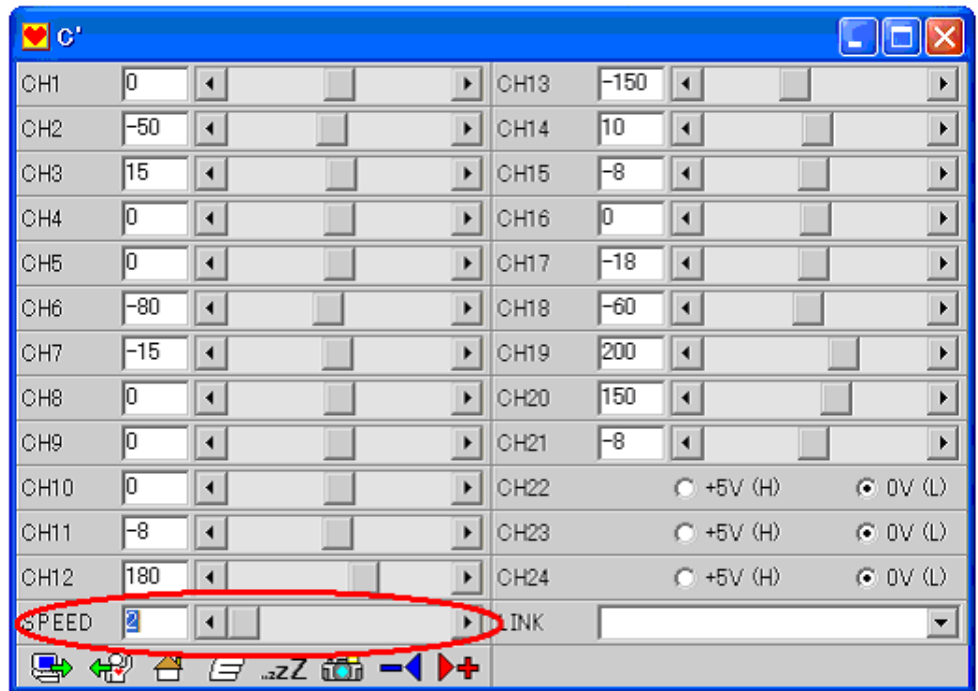


- 2 「C」、「F」をコピーし、貼り付けます(それぞれ「C'」、「F'」と名称変更します。)

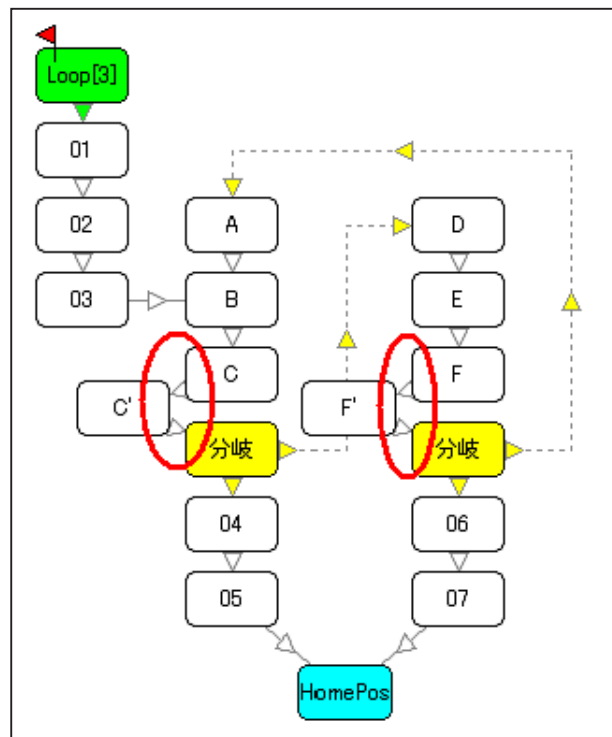


アップデート編

- 3 「C」,「F」の POS ウィンドを開き、SPEED の数値を 2 にします。



- 4 モーションの配線を行います。
「C」 → 「C'」 → 「分岐」
「E」 → 「F'」 → 「分岐」



- 5 このように「C'」と「F'」を配置することにより、Ver1.02 以前での分岐のタイムラグに近い状態を作り出せます。ただし、この方法はモーションの再現性を完全に保証するものではありません。
Ver1.03 以降の RCB-3 の性能を発揮させるためにも、モーション自体の修正をお勧めします。

2, モーション・シナリオへのジャンプ、呼び出し機能の追加

解説

モーション・シナリオ再生中に他モーション・シナリオへのジャンプや、呼び出しを行える機能を追加しました。

詳細につきましては本マニュアル P43 をご参照下さい。

3, MIX オブジェクトの追加

解説

SET オブジェクトからミキシング設定を分離し、MIX オブジェクトとして独立させました。

詳細につきましては本マニュアル P36 をご参照下さい。

ご注意：

Ver1.02 以前で作成されたモーションで、SET オブジェクトでミキシングの設定を行っているものについては、その SET オブジェクトを削除し MIX オブジェクトに置き換えてご使用下さい。
ミキシング設定のされた SET オブジェクトを Ver1.03 以降で使用した場合、動作に支障が出る場合があります。

4, トリムポジションボタンの追加

解説

トリムポジションの概念と、それへの復帰ボタンを追加しました。

詳細につきましては本マニュアル P20 をご参照下さい。

5, 分割機能の追加

解説

配線で接続された 2 つの POS オブジェクト（ポーズ）の間に任意数で分割したポーズを挿入できる機能を追加しました。

詳細につきましては本マニュアル P47 をご参照下さい。

6, 変換機能へのパラメーター設定の追加

解説

変換機能にポジションパラメーターを代入する設定 PRM(?) を追加しました。

詳細につきましては本マニュアル P53 をご参照下さい。

7, 変換機能のスピード設定へ機能追加

解説

変換機能のスピード設定 SPD(?) で、スピードの値を直接代入出来るようになりました。

詳細につきましては本マニュアル P54 をご参照下さい。

アップデート編

8, オブジェクトや各種設定のファイル化

解説

オブジェクトのファイル化

メイン画面の右クリックメニューで POS、SET、CMP、MIX の各オブジェクト単位での保存、読み込みが出来るようになりました。

詳細につきましては本マニュアル P17 をご参照下さい。

LINK 設定のファイル化

LINK 設定の保存、読み込みが出来るようになりました。

詳細につきましては本マニュアル P49 をご参照下さい。

変換設定のファイル化

変換設定の保存、読み込みが出来るようになりました。

詳細につきましては本マニュアル P53 をご参照下さい。

9, データテーブルの修正

解説

RCB-3 に書き込むデータ数が 30 を越えて複数のモーション番号に渡って書き込みが行われるとき、全てのモーション番号にモーション名が表示されるようになりました。

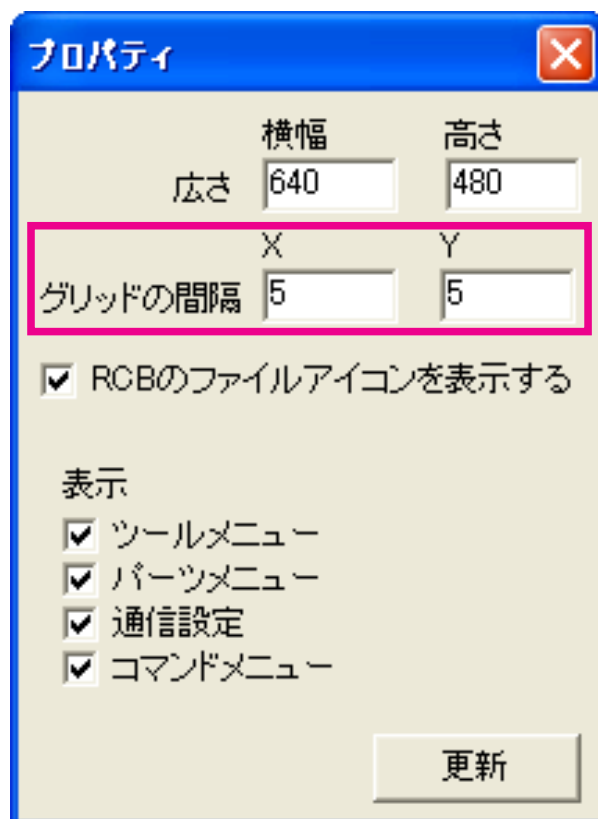
また、そのモーションを削除するとき、先頭のモーション番号を指定すれば全てが削除されるようになりました。

詳細につきましては本マニュアル P28 をご参照下さい。

10, 環境設定の修正

解説

グリッド間隔のデフォルト値を X5 Y5 にしました。



●削除された機能●

1, マルチタスク機能の削除

解説

モーション再生スピードの高速化と併用できないため、マルチタスク機能を削除しました。

2, 電源電圧低下時、センサー入力時の強制割り込みの削除

解説

モーション再生スピードの高速化と併用できないため、モーション再生中の強制割り込み機能が削除されました。

詳細につきましては本マニュアル P70、P72 をご参照下さい。

●その他●

1, 無線使用時にモーション再生速度が低下する問題を解消

解説

Ver1.02 以前で発生していた、特定の条件下で無線使用時にモーション再生速度が低下する問題を解消しました。

2, SET オブジェクトに変換機能を使用すると内容が化ける問題を解消

3, 一部のファイル保存時にファイル容量が大きくなっていく問題を解消

解説

Ver1.02 以前で発生していた、特定の条件下でモーションデータのファイル保存を重ねるごとにファイル容量が増えていくという問題を解消しました。

ただし、これは Ver1.03 以降ではそのような症状の出るファイルが生成されないというものです。Ver1.02 以前で作成し、症状が出ているファイルを Ver1.03 で継続してご使用になった場合には症状は改善されません。

これ以降のさらに高度な使用方法については、弊社ウェブサイトでご紹介します。
また、このマニュアルやソフトウェアの販売後のアップデートについてもサポートページをご覧ください。

<http://www.kondo-robot.com>

RCB-3

